

事務事業名	愛宕蔵保存活用事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	17	終了												
H27担当課等名	生涯学習・スポーツ課	H27係等名	地育力向上係	H26係等名	地育力向上係																		
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり																				
	施策	61	地域資源の発見・資産化																				
目的	対象(誰・何を)	愛宕蔵		対象指標	指標名及び単位			26年度数値															
	意図(どういう状態にするか)	愛宕蔵の外観保存と活用			愛宕蔵改修・整備箇所数(蔵の数)			4															
	向上させたい上位施策の成果指標	活用できる状態の整った地域資源の数																					
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)														
	成果指標	外観保存のための維持管理			3	3	3	3															
	成果指標	補修した蔵の数			4	4	0	0															
定性目標																							
事業概要	<p>・愛宕蔵は、喜久水酒造株式会社からの申出により、平成16年に飯田市に無償で寄贈された。最も古い建物は、大正6年に建築され平成8年ごろまで酒蔵として使われてきたもので、「仕込蔵」、「中蔵」、「一蔵」の3つが一体となった蔵と事務所蔵あわせて延床面積は約1395㎡である。</p> <p>・県内でも最大規模な酒蔵であり、当地方の酒造産業の象徴的な歴史的建造物である。多くの歴史的建造物が大火で失われた旧市街地において、愛宕坂一帯の景観形成に大きな役割を果たしている。貴重な地域資源として、外観を良好な状態で保存し、内部は蔵(収蔵スペース)として活用する。</p> <p>・施設の保存管理に必要な修繕工事を状況に応じて実施する。</p>																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>名称</th> <th>活動指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 外観保存のための管理 建物の管理及び周辺環境整備</td> <td>1 実施回数</td> <td>1 3回</td> </tr> <tr> <td>2 外観保存のための補修工事 (1)案内表示の設置 (2)事務所蔵 基礎・土台・外壁漆喰補修工事 (3)中蔵 外壁漆喰補修・脱落したひさし撤去・雨樋補修工事 (4)一蔵 外壁漆喰補修・なまこ壁補修・雨樋補修工事 (5)仕込蔵 屋根・外壁漆喰補修工事</td> <td>2 補修 (1)箇所数 (2)箇所数 (3)箇所数 (4)箇所数 (5)箇所数</td> <td>2 (1)1箇所 (2)1箇所 (3)1箇所 (4)1箇所 (5)1箇所</td> </tr> <tr> <td>3 保存活用に向けた検討会議の開催</td> <td>3 検討会議開催数</td> <td>3 2回</td> </tr> </tbody> </table>												事業内容	名称	活動指標	1 外観保存のための管理 建物の管理及び周辺環境整備	1 実施回数	1 3回	2 外観保存のための補修工事 (1)案内表示の設置 (2)事務所蔵 基礎・土台・外壁漆喰補修工事 (3)中蔵 外壁漆喰補修・脱落したひさし撤去・雨樋補修工事 (4)一蔵 外壁漆喰補修・なまこ壁補修・雨樋補修工事 (5)仕込蔵 屋根・外壁漆喰補修工事	2 補修 (1)箇所数 (2)箇所数 (3)箇所数 (4)箇所数 (5)箇所数	2 (1)1箇所 (2)1箇所 (3)1箇所 (4)1箇所 (5)1箇所	3 保存活用に向けた検討会議の開催	3 検討会議開催数
事業内容	名称	活動指標																					
1 外観保存のための管理 建物の管理及び周辺環境整備	1 実施回数	1 3回																					
2 外観保存のための補修工事 (1)案内表示の設置 (2)事務所蔵 基礎・土台・外壁漆喰補修工事 (3)中蔵 外壁漆喰補修・脱落したひさし撤去・雨樋補修工事 (4)一蔵 外壁漆喰補修・なまこ壁補修・雨樋補修工事 (5)仕込蔵 屋根・外壁漆喰補修工事	2 補修 (1)箇所数 (2)箇所数 (3)箇所数 (4)箇所数 (5)箇所数	2 (1)1箇所 (2)1箇所 (3)1箇所 (4)1箇所 (5)1箇所																					
3 保存活用に向けた検討会議の開催	3 検討会議開催数	3 2回																					
事業コスト	25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足																		
事業費計(千円)①	1,223	4,744	4,740	1,245																			
国庫支出金																							
県支出金																							
起債																							
その他																							
一般財源	1,223	4,744	4,740	1,245																			
人件費計(千円)②	179		358																				
正規職員所要時間	50		100																				
臨時職員所要時間																							
総事業費①+②	1,402	4,744	5,098	1,245																			
事業内容・目標達成状況の振り返り	蔵内部は収蔵スペースとして利用し、傷みの激しい外壁の補修工事を実施した。また、防火対象物として必要な消防用設備を設置した。市民等の絵画写生、写真撮影のスポットとして親しまれている。																						
改革改善の考え方	①問題点	今年度外壁等の修復工事を行ったが、大正6年建築の建物があり、老朽化に伴う補修が今後も必要となってくる。																					
	②改革提案	景観の保全、及び貴重な地域資源として、今後も必要に応じて補修を行っていく。建物の保存とともに活用策についても研究を進める。																					